

研究課題名	無痛分娩導入による分娩方法の転帰と出生した児の予後調査
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 新生児内科 氏名 森丘千夏子
研究期間	(西暦) 2025 年 2 月 ~ (西暦) 2027 年 3 月
研究の意義・目的	近年、妊娠出産に対するニーズも変化し、分娩時の疼痛緩和目的に無痛分娩の希望が増加している。実際、日本国内で無痛分娩を実施した割合は2018年で5.2%であったのに対し、2023年では11.6%と欧米諸国と比較すると少ないものの急激に増加している。そのため、無痛分娩を安全に提供できる安全管理体制の構築が望まれている。またこれまでは児に対する蘇生や治療介入に関しては報告がほとんどなく、体制を整えるためにも出生時の予後調査が必須であると考え。以上の現状を踏まえ、当院で実施している無痛分娩について検討する。
研究の方法 (対象期間含む)	通常の診療で既に取得された診療情報を収集、分析する単独・後向き観察研究  データ抽出対象期間：2016年4月～2024年12月
①試料・情報の利用 目的および利用方法  ②利用し、又は提供する 試料・情報の項目  ③試料・情報の取得 の方法  ④利用する者の範囲  ⑤試料・情報の管理 について責任を有する 者の氏名又は名称	<p>利用する情報：</p> <p>妊婦の年齢、経産回数、分娩週数、器械分娩使用率、胎児心拍異常の有無、緊急帝王切開移行率、産科合併症（妊娠高血圧、妊娠糖尿病、切迫早産、前期破水、羊膜絨毛膜炎等）、母体既往（甲状腺機能、自己免疫性疾患、血小板減少性紫斑病、不規則抗体）、出生体重、Apgar Score、臍帯血pH、必要とした蘇生術（酸素、mask CPAP、人工換気、挿管）、NICU入院の有無、NICU入院時の診断名、NICU入院時血液検査所見（血算、生化学）</p> <p>情報の取得方法：</p> <p>診療録記載情報から抽出する</p> <p>利用する者：</p> <p>武蔵野赤十字病院 研究責任者、研究分担者</p> <p>責任者：</p> <p>武蔵野赤十字病院 新生児内科 森丘千夏子 ならびに 武蔵野赤十字病院 院長 黒崎雅之</p>
問合せ先	<p>当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 新生児内科 氏名 森丘千夏子</p> <p>TEL：0422-32-3111（代表）6771（事務局内線） FAX：0422-32-3525</p>

